昭和54—142770

10-03-1979 Nakamura







実用新案登録願

町和53年3月79日

特許庁事官

1.考案の名称 庫隔操作に7着脱わ7ヶヶ/接手

2 . 考 者

作"所(图所)三重平流进行,元选明171万万 考难

3. 実用新案登録出願人

郵便番号

K78-02

作"所(居所) 年春平、赤色九元选明、1>-15 アリカナ (法人にあっては名称) 名 (後び代を持つ代名)

4. 添付書類の目録

- (1)明細書
- (2) X 丽
- (3) 願書副本
- (4) (出版衛首請於書

通

通

通 1

1 通)



53 039737 54-142110

008-239.A

()

明细言

1)考案。名标

遺隔操作にて着脱するワンタッチ持手

7)実用新案登録請抗。範圍

機形接手本体(1)の外面と外筒上部(3)及か外筒下部(4)の内面を利用にいか形のシリングーを形成に内部に加圧させ、外間上部(3)のか外間下部(4)を粉動させる事にて着脱する接手

3)考案。詳細な説明

この考案は産際操作にて着脱するワンタッチ接手に関するのである。

従来のフラナ持ちは運桶操作に不着脱が 本来なかたし、大口性の品物は非常に操作が 困難であり、ワンタッチ持ちが採用されなかった。

た外間に他の品物が当、てる簡単に外れ不便であり高汁の持ちとしては大安を使であたこの考察は簡単は構造にて上記の欠点を除去することを目的とする。

(1)

()

外間は部はかは松子部はりにて外間下部は)と一体になっています。

性形持体体(1)。外面と外前に部(3)及び 外前下部(4)。内面を利用し、リング形の嵌入用シリングー(14)と離脱用シリンダー(13)を「ロリングー パンキン科(ア)(8)(10)と(9)とで形成し、合シリングーには嵌入用加た回路(12)と離脱用加た回路(12)と離脱用加た回路(12)と離脱用加た回路(11)が撃かれている。

いま、離脱用加圧回路(11)に加圧がは、離脱用シリングー(13)に加圧され、外間上部(3)及び外間下部(4)は截入用シリングー(14)を圧縮しなりローノー杯まで物動し、空汁(15)

北部球(5)。位置に来る。で銀球(5)は自由になり、雄形持手本体(2)は、雌形持手本体(1)より離脱する。

また、
新入甲加圧回路(12)に加圧すれ は一部人用シリンダー(14)に加圧されみ間上部 (3)及び外間下部(4)は離脱用シリンダー(13) を圧縮にストロークー杯はで物配が金岡球(5) を空前(15)より内部へ押出に雌形括千本体 (1)と雄形括千本体を固定する。 3物入

この考案は以上のように従来のワンタッチ持行を簡単に改造お事にて産廃操作にて着脱を、円滑かの確実に行かうことが出来るら、他の品物が接触ら外間上部の3)及が外間下部(4)を動かそうとする力が働いてる、截入用シリンダー(14)、離脱用シリンダー(13)の反圧が働き、これを防ぐ、また加圧にて外間上部の3)及が外間下部(4)を動作されて今日までワンタッチ持ちが採用さればめた大口を持ちに有利である。

機側にて操作するには、ハンドボック等を利用すれば、十分作物させられる。

4) 図面。簡単ri説明 第1回はワンタッチ接手。從断面図。

- 1. 雌的接手本体
- 2. 雄形形体
- 3. 外間上部
- 4. 外尚下部
- 5. 倒珠
- 6. 松子护

()

- ワ. つかがかれ
- 8. " -
- 9. _ " _
- 10. - -

- 11. 瓣胶用加压回路
- 17. 截用加压回路
- 13. 離脱用 311-7-
- 14. 获入用 シリンブー
- 15. 空产

使用新来登録之顾人 中村存在 (4)

第1四 ()13. 14 15 東用新黎舒太嗣人 中村 朽桩

手続補正書(方式)

昭和局部第一节 5月12万兰出

特 許 庁 長 官 (特許庁審査官

殿)

1. 事件の表示

昭和53年実用新案登録願第039737号

2. 考案の名称

遠隔操作にて着脱するワンタッチ接手

3. 事件との関係 佐 ^{*} 所(居所)

実用新案登録出願人

兵庫県赤穂市元塩町12-15

氏 名

中村秀雄

4. 代 理 人 作 所(居所) 氏 名

()

(FP)

- 5. 補正命令の日付
- 6. 補正の対象
- 7. 補正の内容

願書 出願審査請求書 明細書の清書 (内容に変更なし)



[4])

実用新案登録願

以 相 53 位 3 月 29 日

特許庁長官

松

1. 考案の名称 遠隔操作にて着脱するワンタッチ接手

2. 考

(E 所 (居所) 兵庫県赤穂市元塩町 1 2 - 1 5

节 科 莠 雄

3. 実用新案登録出願人

678-02

兵庫県赤穂市売塩町12-15

村

4. 添付皆類の目録

(1) 明細書 1 油

(2) X 通

(3) 顯古副本 1 通

(出願審查請求書 1 通)

明細書

1) 考案の名称

遠關操作にて着脱するワンタッチ接手

2) 実用新案登録請求の範囲

離形接手本体(1)の外面と外簡上部(3)及び外 簡卜部(4)の内面を利用し、リング形のシリンダー を形成し、内部に加圧させ、外筒上部(3)及び外 筒卜部(4)を移動させる事にて着脱する接手

3) 考案の詳細な説明

この考案は遠隔操作にて着脱するワンタッ チ接手に関するものである。

従来のリンタッチ接手は遠隔操作にて着脱が出来なかったし、大口径の品物は非常に操作が困難であり、ワンタッチ接手が採用されなかった。

また外筒に他の品物が当っても簡単に外れ不 便であり高所の接手としては大変危険であった この考案は簡単な構造にて上記の欠点を除去 することを目的とする。 この考案を図面にもとづいて説明すると、 離形接手本体(1)に、権形接手本体(2)を挿入し、 釧珠(5)が両方に嵌入するように円周方向に数カ 所配置され外筒下部が移動する事にて鋼珠(5)を 固定または自由にし、離形接手本体(1)と維形接 手本体(2)を着脱させるようになっている。(ここまでは、従来のワンタッチ接手の構造である) 外筒上部(3)は韓子部(6)にて外筒下部(4)と一体に なっています。

離形接手本体(1)の外面と外筒上部(3)及び外筒 下部(4)の内面を利用し、リング形の嵌入用シリンダー(14)と離脱用シリンダー(13)を*b**リングパッキン材(7)(8)(10)と(9)とで形成し、各シリンダーには嵌入用加圧回路(12)と離脱用加圧回路(11)が導かれている。

いま、離脱用シリンダー(13)に加圧され外 筒上部(3)及び外筒下部(4)は嵌入用シリンダー (14)を圧縮しストロークー杯まで移動し、空 所(15)が、鋼球(5)の位置に来るので鋼球(5)は 自由になり、維形接手本体(2)は、錐形接手本体 (1)より離脱する。

また, 嵌入用加圧同路(12)に加圧すれば嵌入用シリンダー(14)に加圧され外筋上部(3)及び外筒下部(4)は離脱用シリンダー(13)を圧縮しストローク一杯まで移動し調味(5)を空所(15)より内部へ押出し離形接手本体(1)と雄形接手本体(2)を固定する。

この考案は以上のように従来のワンタッチ接手を簡単に改造する事にて遠隔操作にて着脱を円滑かつ確実に行なうことが出来るし、他の品物が接触し外筒上部(3)及び外筒下部(4)を動かそうとする力が働いても、嵌入用シリンダー(14)離脱用シリンダー(13)の反圧が働き、これを防ぐ。また加圧にて外筒上部(3)及び外筒下部(4)を動作さすので今日までワンタッチ接手が採用されなかった大口径接手に有利である。

機働にて操作するには、ハンドポンプ等を利 用すれば十分作動させられる。

4) 図面の簡単な説明

第1図はワンタッチ接手の縦断面図

1.雌形接于本体

11.離脱用加圧回路

2.雄形接手本体

12.嵌入用加圧回路

3.外筒上部

13.離脱 用シリンダー・

4.外简下部

14.嵌入用シリンダー

5.侧 球

15.空 所

6.稳 子部

7."0"リングパッキン材

9 -- // --

9 - "

10. - " -

実用新案登録出願人

中村秀雄

()